

19世紀末イギリスの画家、待望の高知初上陸。

異端の奇才

ビアズリー展

Beardsley, a Singular Prodigy

2025

2026

11.1_[土] - 1.18_[日]

※12月27日(土)から1月1日(木・祝)は休館

11月3日[月・祝]は開館記念日のため入場無料!

開館時間 | 9:00-17:00(入場は16:30) ※12月18日(木)は19:00まで(入場は18:30)

観覧料 | 一般前売 1,360円、一般当日 1,700(1,360)円、大学生 1,000(800)円、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体割引料金。※年間観覧券所持者は無料。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)、高知県及び高知市の長寿手帳所持者は無料。

主催 | 高知県立美術館(公益財団法人高知県文化財団)、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、朝日新聞社、KUTVテレビ高知

後援 | プリティッシュ・カウンシル、高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、NHK高知放送局、KCB高知ケーブルテレビ、ユフエム高知、高知シティFM放送

協力 | 日本航空

[前売券販売所] 県立美術館ミュージアムショップ、金高堂書店本店、こうち生活協同組合(コープよしだ、コープかもへ)、
県庁生協売店、ローソンチケット[Lコード:63171]

V&A

高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI

A V&A Exhibition - touring the world

オープリー・ビアズリー<クライマックス>1893年(原画)、1907年(印刷)、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 Photo: Victoria and Albert Museum, London

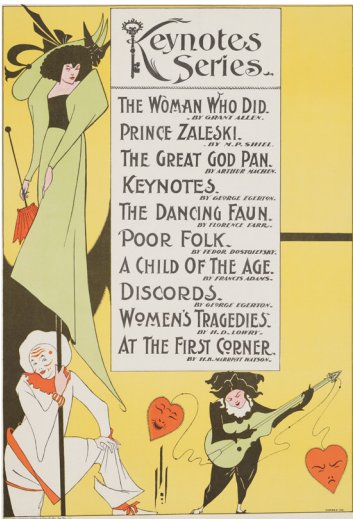
センセーショナルでエレガント、ユーモラスでグロテスク。

ヴィクトリア朝イギリスで活躍した画家、オーブリー・ビアズリー。オスカー・ワイルド著『サロメ』挿絵の血のしたたる頭部を持って嗤う女性像はあまりにも有名です。選り抜いた線、斬新な画面構成、独自の物語解釈によって描かれた作品は、その妖しい魅力によって多くの人を惹きつけました。その後も雑誌『イエロー・ブック』や『サヴォイ』、ポーブの『髪盗み』の挿絵など意欲的に制作を続けますが、幼少より患っていた結核のため25歳という若さで亡くなります。大胆な白と黒の色面のなか渦巻く髪の毛、流れるような衣、図案化された植物——緻密な線と繊細な点描で描き込まれた作品群は、今なお多くの画家やデザイナーに影響を与えています。

本展覧会ではイギリスのヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(V&A)の協力により、初期から晩年までの作品約200点を展示します。出世作『アーサー王の死』から後期の傑作『モーパン嬢』の挿絵の数々、希少な直筆の素描、彩色されたポスターや、家具、食器といった同時代の調度品などを通じて、19世紀に花開いた退廃的で優美な世界をご覧ください。



オーブリー・ビアズリー『孔雀の装束』1907年



オーブリー・ビアズリー『キーノーツ叢書』の宣伝ポスター1966年



オーブリー・ビアズリー『アヴェニュー劇場公演の宣伝ポスター』1894年

関連イベント

【記念講演会】
「ビアズリーとボッティチェリ：再発見されたルネサンス画家と19世紀末のイギリス美術」
日時：11月24日(月・祝) 13:30-15:00
講師：高橋裕子(学習院大学名誉教授、芸術書出版アートワークス代表)
会場：1階 講義室[聴講無料・予約不要]

【秋の定期上映会】
「異才たちの宴 ポーと乱歩とビアズリー」
上映ラインナップや料金、上映時間などの詳細は当館ウェブサイトやチラシなどをご覧ください。
日時：11月15日(土)、16日(土)
会場：美術館ホール

相互割引 上記上映会のチケット又は半券提示で本展を前売料金(一般当日1,700円→1,360円、大学生当日1,000円→800円)、本展のチケット又は半券提示で上記上映会が前売料金(当日1500円→1200円)でご覧いただけます。

【ワークショップ】
「白と黒で描く蔵書票」
ペンとインクでオリジナルの蔵書票(本の所有者を示すためのラベル)を作ります。
日時：11月30日(日)、12月7日(日) 13:30-15:30 ※2回とも参加できる方
講師：山本明子(画家、イラストレーター)
対象：中学生以上
定員：15名
参加費：500円[要観覧券]
会場：1階 創作室
申込方法：お電話(088-866-8000/9:00-17:00)もしくはEメール(museum@kochi-bunkazaidan.or.jp、件名：ビアズリー展 WS、本文：①お名前②電話番号③年齢④人数を記入)にてお申込みください。

高知会場限定!
スペシャルコラボ
「ビアズリー × 楠本まき」
12月中に本展ご来場の方に漫画家・楠本まきによるオリジナルイラスト入りのしおりをプレゼント!
※なくなり次第配布終了

予約制 無料託児サービス
日時：11月15日(土)11:45-15:00 / 11月16日(日)13:15-16:00 / 11月17日(月)10:00-13:00
定員：各回6名程度 対象：本展を鑑賞される方のご家族で、生後6ヶ月から就学前のお子さま
申込方法：お電話で仮予約の上、申込書を11月8日(土)までにお送りください。



オーブリー・ビアズリー『ジークフリート』第2巻1892年

所蔵は全てヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
All Photos: Victoria and Albert Museum, London

サタデー・レクチャー
「ビアズリー その源泉と影響」
日時：12月6日(土)13:30-15:00
講師：柳澤宏美(当館学芸員)
会場：1階 講義室[聴講無料・予約不要]

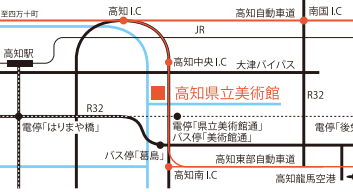
担当学芸員によるギャラリートーク
日時：11月9日(日)、12月14日(日)、1月4日(日) 各14:00-
会場：2階 ビアズリー展会場[要観覧券・予約不要]

ティーチャーズ・デー
高知県内の教職員の方を無料で展覧会に招待します。担当学芸員のギャラリートーク付きで本展を鑑賞したのち、学校利用についてのカウンセリングを行います。図工や美術以外の先生でもご参加いただけます。
日時：12月14日(日)14:00-[要予約]
申込方法：お電話(088-866-8000/9:00-17:00)にて12月7日(日)までにお申し込みください。

12月18日(木)は夜間開館デー
19:00まで開館!(入場は18:30まで)
17:45からギャラリートーク有。

オーブリー・ビアズリー
Aubrey Beardsley (1872-98)
フレデリック・エプタンス
『オーブリー・ビアズリーの肖像——模範』1894年頃

イギリス・ブライトン出身。家計を支えるため16歳から事務員として働き、夜間に制作活動を行った。トマス・マロリー著『アーサー王の死』(1893-94)やオスカー・ワイルド著『サロメ』(1894)の挿絵で成功してから、ろうそくの光のもとで絵を描いたのは、その名残といえる。1895年にワイルド裁判の余波で『イエロー・ブック』美術編集の職を失うが、季刊誌『サヴォイ』(1896)やアレクサンダー・ポーブ著『髪盗み』(1896)の挿絵で新境地を見せた。幼少期からの肺結核により25歳で他界。



●とさでん交通路面電車「はりまや橋」から「ごめん」「領石通」または「文殊通」行きで15分、「県立美術館通」下車徒歩5分 ●高知龍馬空港からは、高知市内—空港間を結ぶ空港連絡バスをご利用いただけます。バス停「葛島」下車徒歩16分 ●車・タクシーをご利用の場合は、JR高知駅から20分、高知龍馬空港から20分、高知インターから10分(高知東部自動車道方面からは降りられません)、高知中央インターから3分、高知南インターから10分